

第72回国民体育大会中国ブロック大会
バレーボール競技

ビーチバレーボール

期 日 平成29年7月9日(日)
会 場 ベイサイドビーチ坂 ビーチバレーボールコート
主 管 一般財団法人広島県バレーボール協会 広島県ビーチバレーボール連盟

競 技 会 役 員

名 誉 会 長	重野 陽一			
会 長	大石 陽介			
副 会 長	松下 光一	倉増 誠彦	荊尾 俊	鷺見 守彦
顧 問	齋藤 宗房	大森 英二	八幡 勝	中島 博
競技会委員長	下村 英士			
競技会副委員長	栗栖 泰裕	大下 浩司	青砥 二郎	松田 智之
	楨本 亨			
競 技 会 委 員	渡邊 善行	福原 大樹	松本 雅人	小幡 賢一

競 技 役 員

競 技 委 員 長	有本 一哉			
競 技 副 委 員 長	高橋 功憲			
競 技 委 員	小笹山 昇	林 義雄	横畠 真希	大場 久美
	橋根 豊	香川 秀一		
審 判 委 員 長	樋口 正志			
審 判 副 委 員 長	難波 成行			
審 判 委 員	藤見 智明	三輪 哲也	竹下 光治	高下 克己
	寄友 亘	遠藤 保司	村上 伴樹	木地 広樹
	西村 泰徳	安藤 駿		
線 審 ・ 点 示	広島県立五日市高等学校バレーボール部 広島県立広島工業高等学校バレーボール部			
総 務 委 員 長	風呂光 茜			
総 務 副 委 員 長	山中 重幸			

代表者会議及び開会式

日 時：平成29年 7月 9日(日) 午前9時50分
会 場：ベイサイドビーチ坂 ビーチバレーボールコート

式 次 第

- 1 開式通告
- 2 あいさつ
- 3 競技上の注意
- 4 諸連絡
- 5 閉式通告

※閉会式について

各コート毎に、準決勝・決勝戦終了時にそれぞれ1～3位までの表彰を行い、閉会式は行わない。

競 技 日 程

【期日】平成29年7月9日(日)

【会場】ベイサイドビーチ坂ビーチバレーボールコート

時 間	試合順	男子	女子	備考
		Aコート	Bコート	
9:30		受 付		
9:50		代表者会議		
10:30	1	鳥取県 VS 広島県	岡山県 VS 山口県	
11:30	2	島根県 VS 岡山県	広島県 VS 島根県	
12:30	3	A1勝者 VS 山口県	B1勝者 VS 鳥取県	
14:30	4	決勝戦	決勝戦	

※試合球

男子 モルテン (BV5000)

女子 ミカサ (VLS300)

※練習コートの使用については、各チームで話し合ってください。

競技に関する確認事項

1. 競技規定

- (1) 平成29年度公益財団法人日本バレーボール協会2人制ビーチバレーボール競技規則により実施する。

2. 競技方法

- (1) トーナメント戦方式とし、全試合スリーボールシステムで行う。
- (2) 試合は、21点3セットマッチ（最終第3セットは15点）で行う。
20-20の同点（タイ）になった場合は、(22-20, 23-21のように) 2点勝ち越したチームを勝者とする。
- (3) 試合球は、男子：モルテン製（BV5000）、女子：ミカサ製（VLS300）とする。

3. 競技時間

- (1) 試合前までのスケジュール
 - ① 9時30分～ 9時45分 大会受付
 - ② 9時50分～ 10時00分 代表者会議
- (2) 試合開始時間
 - ③ 10時30分～ 第1試合開始
 - ④ 11時30分～ 第2試合開始
 - ⑤ 12時30分～ 第3試合開始
 - ⑥ 14時30分～ 決勝戦
- (3) 前の試合が終了し、次の試合のマッチプロトコールまでの間、当該試合の出場チームは、コートを使用した練習をすることができる。ただし、他のコートが試合中の場合は、ボールの使用を制限することがある。
- (4) 公式ウォームアップは、両チーム合わせて3分間行う。

4. ユニフォームについて

- (1) 平成29年度のユニフォームの規定を適用する

5. その他

- (1) その他、変更等は、大会本部で決定し、直ちに各チームにお知らせする。

審判に関する確認事項

1. 本大会は、平成29年度公益財団法人日本バレーボール協会2人制ビーチバレーボール競技規則により実施する。
2. 競技方法は、トーナメント方式とし、全試合3セットマッチで、マッチプロトコール方式で行う。
 - (1) コートスイッチは、チームは得点合計が7点（第1、2セット）及び5点（第3セット）の倍数になるたびにコートスイッチをする。
 - (2) タイムアウトは、各セット1回（30秒間）である。また、第1、第2セットでは、両チームの得点合計が21点に達したとき、30秒間のテクニカルタイムアウトが自動的に適用させる。
 - (3) インターバル（セット間の時間）は、各セット1分間とする。
3. 公式ウォームアップの際には、エントリーされた選手と監督のみが、競技エリア内に入ることができる。
4. 監督に関する規定
 - (1) チームは、監督1人を置き、必ずチームベンチにいななければならない。
 - (2) 監督は、公益財団法人日本バレーボール協会が定める資格を有する者でなければならない。
 - (3) 監督は、ビーチバレーボール競技規則に精通し、チームキャプテンとともにチームメンバーの行為や規律に責任を持つ。
5. ベンチ入りする監督は、次の権限を持ち、また義務を負う。
 - (1) 試合開始前、記録用紙の監督サイン欄にサインしなければならない。
 - (2) 監督は、マッチプロトコール時（コイントス時）までに競技エリアにいななければならない。また監督が試合の途中で競技エリアを離れた場合、試合終了まで再び競技エリアに戻ることはできない。
 - (3) 監督は、コートでの公式ウォームアップに参加することができる。
 - (4) 監督は、試合中、チームベンチに座る。ラリー中は立って指示または声援を送ることはできない。また、チームサイドがコートスイッチにより入れ替わる際には、監督もその都度ベンチを移動しなければならない。
 - (5) 監督は、試合中、次の場合に限ってチームベンチにおいてチームメンバーに指示することができるが、これ以外の権限は有しない。また、審判員に公式ハンドシグナルを示し、口頭でタイムアウトを要求することができる。
 - ①タイムアウト時 ②テクニカルタイムアウト時 ③インターバル時
 - ④ラリー終了後次のサービス許可のホイッスルまでの間
 - (6) 監督は、試合中、通信機器の利用を含め外部の者と接触してはならない。
 - (7) 監督は、チームメンバーであり、試合の遅延行為は規則16（試合の遅延）が適用させる。その際、公式記録用紙の備考欄に遅延の罰則の内容を記載する。

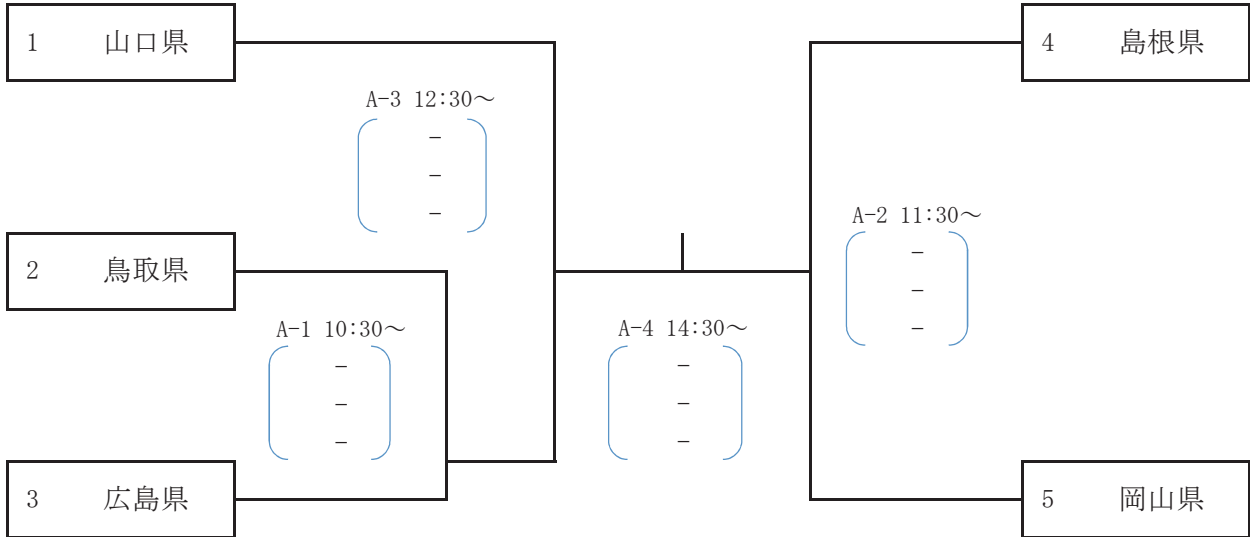
(8) 監督の(4)(5)に反した場合を含め不法な行為は、規則20(不法な行為とその罰則)が適用される。その際、公式記録用紙の備考欄に不法な行為の内容を記載する。

6. 競技中断(タイムアウト)の要求は、プレーがダブルフォルト(ノーカウント)になった場合や試合を中断して遅延に対する罰則を適用した場合には、中断の要求は認められない。
同一中断中に遅延の罰則を適用されたときは、そのチームの中断の要求は認められない。
7. 軽度の不法な行為があった場合は、再発を防止するため、そのチームにゲームキャプテンを通じて口頭で警告をする。チームの2回目の軽度の不法な行為については、その該当する選手にイエローカードを示し警告する。

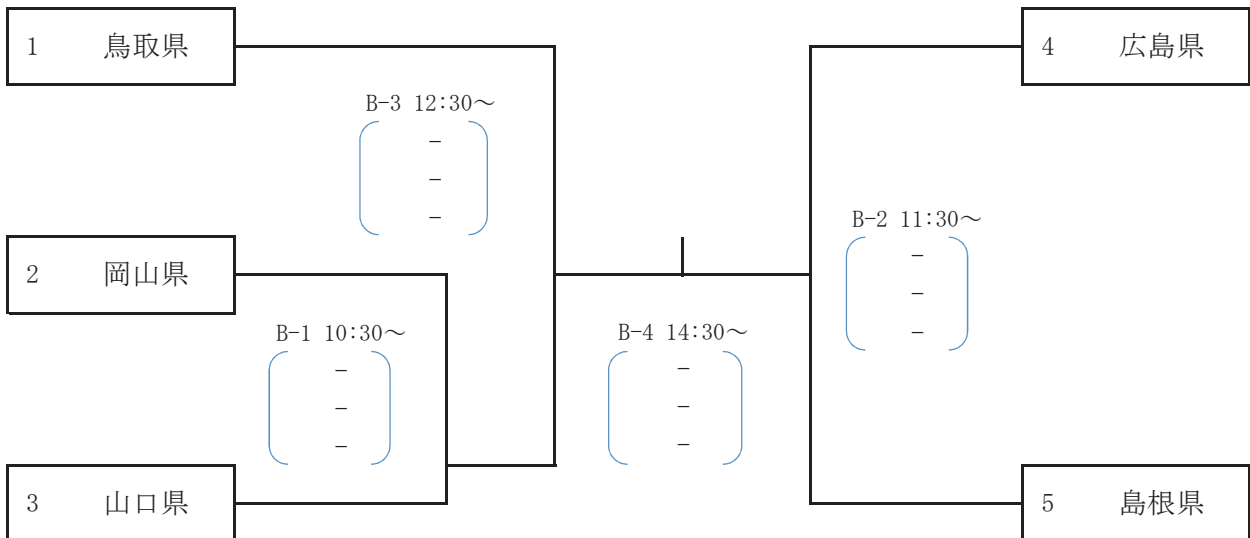
バレーボール競技 ビーチバレーボール組合せ

【期日】平成29年7月9日（日）

1 男子 会場：ベイサイドビーチ坂（Aコート）



2 女子 会場：ベイサイドビーチ坂（Bコート）



山 口 県 選 手 団

男子

監 督 名		三輪 哲也
背番号	氏 名	所 属
①	佐々木 宣宏	彦島製錬(株)
2	安田 和男	下関市立下関商業高等学校

女子

監 督 名		渡邊 善行
背番号	氏 名	所 属
①	松原 忍	
2	山根 桃子	

島 根 県 選 手 団

男子

監 督 名		藤原 将己
背番号	氏 名	所 属
①	福原 大樹	島根県立浜田養護学校(教)
2	上野城 将志	島根県立吉賀高校(教)

女子

監 督 名		波田野 政幸
背番号	氏 名	所 属
①	山根 優希	JMS出雲工業
2	山根 千尋	島根県土地改良事業団連合

鳥 取 県 選 抜 選 手 団

男子

監 督 名		松本 斉
背番号	氏 名	所 属
①	松本 大翼	松本雅人土地家屋調査士事務所
2	前田 勇希	鳥取県立米子養護学校(教)

女子

監 督 名		山崎 幹雄
背番号	氏 名	所 属
①	船岡 絵里	AIG富士 インシュアランスサービス(株)
2	徳永 昌美	米子南高等学校(職)

岡 山 県 選 手 団

男子

監 督 名		米山 広起
背番号	氏 名	所 属
①	中野 孝治	岡山県
2	井上 聡	岡山県

女子

監 督 名		小幡 堅一
背番号	氏 名	所 属
①	高橋 幸代	岡山県
2	真田 多津恵	岡山県

広 島 県 選 手 団

男子

監 督 名		栗栖 泰裕
背番号	氏 名	所 属
①	木村 雄一	(公財)いたみ文化スポーツ財団 伊丹スポーツセンター
2	高橋 史和	豊中市立第八中学校(職)

女子

監 督 名		西本 重雄
背番号	氏 名	所 属
①	三木 庸子	豊中市役所
2	菅原 和子	清川村立宮ヶ瀬中学校(教)